

1 題材名 将来の生き方と学習 [(3) 学級活動- (イ), (エ), (オ)]

2 題材の目標

- (1) 働くことの目的や意義を知ること、将来の自分の生き方と深いつながりがあることを理解するとともに、望ましい職業観・労働観・勉学観の基礎を身につける。
- (2) 学習の悩みについて話し合うことから、その解決方法を理解し、意欲的に学習に取り組む態度を身につける。
- (3) 多くの人の学習方法や体験談を聞くことから、より効果的な学習方法を理解するとともに自分に合った学習方法を考える。

3 指導にあたって

(1) 題材設定の理由

ほとんどの生徒が進学する本校の現状では、「進路学習」＝「進学」ととらえる生徒が多い。生き方の指導に重点を置く進路指導は、生徒自身が自らの将来に夢を持ち、どんな生き方をしようとしているのかを考えさせることが大切となる。また、そのためには、これからしなければならないことを考えさせる必要があると考える。「生涯学習」といわれる時代、自分の生き方を考えさせる中で「働く目的・学ぶ目的」をじっくりと考えさせたい。また、心豊かで思いやりのある人間を育成するためには「個性」と「自立心」を柱に、ともに学び、ともに生きる力を育むことが大切である。学習に自主的・積極的に参加することが充実した学習につながっていくものであることを理解させたい。

(2) 生徒観

新しい学年・学級がスタートして2ヵ月が過ぎた。これまでに、学級ノート「2年生になったの抱負」や「私の1学期の目標」の取り組みなどから、新たな気持ちで新しい生活を送ろうという姿勢が伝わってくる。また、中間テストへの取り組みと反省から学習への意識も高くなってきている。自分の生き方についてじっくり考え、そのためにしなければならないことを考えるのに適した時期だと思われる。

(3) 指導観

本校では、「総合的な学習の時間」として10月にトライアルウィーク（体験週間）を設けて、『わく・ワーク体験』（職場体験）を実施している。題材『将来の生き方と学習』は、その職場体験に向けての進路学習の第一歩となる。

お互いの考えや意見を温かい気持ちで受け入れ、活発な話し合いができるように工夫することから、自分の生き方を見つめ、そして、考えることができるように学習を進めていきたい。

4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	表現・技能	知識・理解
自己の生き方、働くことや学ぶことなどに関心を持ち、意欲をもって自己のよさを伸ばそうとしている。	自己の将来に希望を抱き、その実現に向けて将来の生活設計を考え、今学ぶべきことや自己の生き方について考え、判断している。	主体的に学び方を身につけ、学習や進路選択に必要な情報を集め、活用し、自己の個性や学習の成果を進路選択に生かすことができる。	働くことの意義や学ぶことの意義を考え、広く知ることから、自己の能力や適正を理解している。

5 題材の指導・評価計画（総時数 4時間）

次	学習活動	指導上の留意点	評価規準等
一 (1)	パネルディスカッションを通して、働くことの意義や目的を考え、多面的に理解する。	・パネルディスカッションが円滑に進み、意見交換しやすい雰囲気を作りたい。	・パネルディスカッションに意欲的に参加している。〔関心・意欲・態度〕 ・働くことの意義や目的を多面的に理解している。〔知識・理解〕
二 (1)	グループでの話し合いを通して、学ぶことの意義や目的を考え、多面的に理解する。	・グループでの話し合いが進むように工夫したい。	・グループの話し合いに積極的に参加している。〔関心・意欲・態度〕 ・学ぶことの意義や目的を多面的に理解している。〔知識・理解〕
三 (2)	学習についての悩みを相談し合い、その解決方法を知る。	・まじめに相手のことを考えられる雰囲気を作りたい。	・学習の悩みについて、真剣に話し合っている。〔関心・意欲・態度〕
	みんなの学習方法や工夫を聞き、自分に合った効果的な学習方法を知る。	・グループでの話し合いが深まるように工夫したい。	・自分に合った効果的な学習方法を見つける。〔技能・表現〕

6 本時の学習（第一次 第1時）

(1) 題目 『人はなぜ働くのか』

(2) 本時のねらい

- ・働くことの意義や目的についての視野を広め、望ましい職業観・勤労観形成の基礎を養う。

(3) 準備・資料 アンケート結果・ワークシート

(4) 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価（観点，方法等）
導入	<p>1. 本時の学習内容を知る。</p> <p>2. 「職業を選ぶ基準」アンケートの結果発表を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・机は討論しやすいように配置しておく。 ・発表者に対しては拍手を送ることを確認する。 ・基準の多様性に気づかせたい。 	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>パネルディスカッション 『職業を選ぶ基準は』</p> </div> <p>3. パネラーが「職業を選ぶ基準で、自分が一番だと考える価値」について、その理由を主張する。</p> <p>4. パネラーの主張を聞いて感じたことをワークシートに記入する。</p> <p>5. パネラーの主張に対して、質問や意見を発表する。</p> <p>6. パネルディスカッションでの意見交換をもとに、自分の「職業を選ぶ基準」の順位を考え直す。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>A 収入が安定している。</p> <p>B 楽しくできる。</p> <p>C 興味がある。</p> <p>D 自分の能力にあう。</p> <p>E お金がもうかる。</p> <p>F 自分の好きなこと・やりがいがある。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の主張を堂々と発表できるように激励する。 ・友達の主張をしっかり聞き取り、ワークシートの観点到にしたがって書き込むように指示する。 ・できるだけ多くの発表ができるように時間の確保を工夫する。 ・みんなの考えや意見を踏まえて、自分の判断で決定し、自分の考えの変化を確かめるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッションに意欲的に参加している。〔観察・発表・ワークシート〕
終末	<p>7. 学習を振り返って、感想をワークシートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・机間支援を行うことから、それぞれの考えが深まるように、3名ほどに感想の発表をお願いする。 ・「職業観・勤労観」の多面性と自分の生き方を考えていくことの大切さを押さえたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意義や目的を多面的に理解している。〔感想文〕